

グルック作曲によるウィーン・セレナータの様式

鍵山 由美

1. 研究の目的

グルック Christoph Willibald Gluck (1714-87)は、マリア・テレージアとフランツ・シュテファンの統治時代(1740-65)に、ウィーンで6作の1幕構成の機会作品、すなわちセレナータを作曲した¹⁾。『お茶の水音楽論集』第2号(2000)において、筆者はこれらの作品のジャンル表記の煩雑について論述した。今回の研究目的は、音楽様式の面から諸作品を考查し、ジャンルと様式の関連を探求することにある。本稿では3幕構成の〈Orfeo ed Euridice〉(1762)も対象作品に加える。なぜなら、同作品にはセレナータの一種である *azione teatrale* のジャンル名が付与されているからである。対象作品および使用楽譜は次の通りである(表1)。尚、各作品のデータを表2～表8に示し、編成の都合上巻末にまとめた。

表1: 対象作品一覧

code	タイトル	作曲年	ジャンル	幕	使用楽譜
#01	Le cinesi	1754	componimento drammatico	1	GW iii/17
#02	La danza	1755	componimento drammatico pastorale	1	GW iii/18
#03	L'innocenza giustificata	1755	festa teatrale	1	GW iii/19
#04	Tetide	1760	serenata	1	GW iii/22
#05	Orfeo ed Euridice	1762	azione teatrale	3	GW i/ 1
#06	Il parnaso confuso	1765	azione teatrale	1	GW iii/25
#07	La corona (未上演)	1765	azione teatrale	1	GW iii/26

* code=筆者が付けたものである。ジャンルはBROWN 2001に基づく。

2. 1幕構成のセレナータと〈Orfeo〉

様式分析の結果、3幕構成の〈Orfeo〉と1幕構成の諸作品には歴然

とした様式的差異があることが判明した。これは、幕数とは全く関係なく、本質的な音楽作法の違いといえる。〈Orfeo〉の革新性は、(1)チェンバロ伴奏のみのレチタティーヴォ・セッコを退け、すべてのレチタティーヴォを器楽伴奏のアッコンパニャートとしたこと、(2)当時のオペラの軸であったダ・カーポ・アリア形式を使用しなかったこと²、(3)合唱と舞踏の積極的な導入、(4)器楽の役割の拡大にある。(1)と(2)によって、楽曲の連鎖的な接続が可能となり、音楽による徹底した場面統合が成された³。それは、従来の冗長さを払拭し、劇的対比をも明確にした。また、ダブル・オーケストラや管楽ソロの導入で、器楽の描写力は格段に向上した。

一方、他の6作は、〈Orfeo〉以後の作品も含め、一貫してレチタティーヴォ・セッコとダ・カーポ・アリアが交替する保守的様式を基盤とする。しかし、ロッシーニ等の19世紀のオペラにさえセッコが用いられていることを考えれば、〈Orfeo〉が従来の伝統を完全に断ち切った訳ではないことがわかる。その後も相当の期間にわたって改革的な様式と保守的な様式が並存し続けた。ということは、保守的な様式にも後世に受け継がれた要素があるということだ。セレナータの観察では、〈Orfeo〉の前兆を探るだけでなく、保守的な様式内の変化に留意することも重要である。

3. 1幕構成のセレナータの様式

1幕構成の6作のうち、〈L'innocenza giustificata〉と〈La corona〉には場の設定があり、入退場の指示がある。しかし、そうした劇作法と音楽様式に関連は認められない。上述のように全作がレチタティーヴォ・セッコとアリアの交替する形で書かれているが、保守的な構造の中

にも革新的な技法の萌芽はみられる。〈cinesi〉の最初のアリアは、10分以上に及ぶレチタティーヴォの後に歌われるが、アッコンパニャートから接続する形で始まる。〈danza〉には、最後の二重唱の間にレチタティーヴォを挿入する統合の工夫がみられ、次作〈innocenza〉には部分的にレチタティーヴォ・アッコンパニャートが使用され、カヴァータ、アリエッタ等の、アリア以外の楽曲で音楽的变化が付けられている。〈Tetide〉では初めて冒頭に合唱を配置し、その合唱が3曲後に再び聴かれる。この種の構造は、ひとつの場を連続した楽曲で統合する〈Orfeo〉に進化する。その後の〈Il parnaso confuso〉においても、シンフォニアの第1楽章冒頭旋律が続く器楽導入部に使用され、器楽リトルネロ(No.4)の旋律が、レチタティーヴォをはさんで次のアリアで歌われる(No.5)。つまり、セレナータにおいて実験され、〈Orfeo〉で結実する楽曲統合への過程が明らかになる。

3-1 演者の問題

〈Orfeo〉に対する聴衆の反応は賛否両論あった(ABERT 1963: IX)。しかし何故、グルックは改革様式から保守的な様式に戻ったのか。〈Orfeo〉以後、擁護者であった劇場監督官ドゥラッツォ伯の解任(1764)など、彼を取り巻く環境に決定的な変化があったことは事実だ。だが、セレナータの保守性に関わる要因のひとつに演者の問題がある。セレナータは機会作品であった。1度限りの上演を基本とする機会作品においては、特定の歌手を想定して楽曲が書かれる。〈Orfeo〉以後の2作(#06, #07)を舞台で演じたのはプロ歌手ではなく、皇帝の娘たちであった。儀礼を重視する宮廷で「皇女が演じる」という意味を考えれば、作曲家が冒険的な道を選ぶことを避けて、因習的な型に従ったことの十分な理由になる。

しかし、〈parnasos〉と〈corona〉におけるアリアの音域の広さが示すように、皇女のための作品がことさら技術的に平易で、他の作品と異なる音楽手法を用いて書かれている訳ではない(表7、表8参照)。当時 12 歳のマリア・カロリーネに対しては、コロラトゥーラを排して旋律を簡略化する配慮が見られる(#06No.3, #07No.3)。しかし、これは例外であり、他の楽曲からは皇女たちの歌の技量の高さが伺える⁴。

一方、プロ歌手の演じた作品を考察する上で重要なのは、彼らの立場である。当時の音楽界では、作曲家よりも人気歌手の方が収入も立場も上であった。彼らは、劇の進行や劇の真実性よりも、技量の誇示、つまりコロラトゥーラやカデンツァをすべてに優先したのである。その場限りの演奏という前提で作曲されたセレナータには、歌手と作曲家の力関係が顕著に現れている。〈danza〉から3作の初演に出演したカタリーナ・ガブリエッリや、カストラート歌手の楽曲には、特に長いコロラトゥーラが多用されている。そして、これこそがダ・カーポ形式と結びついたバロック以来の古い手法であり、この時代に至っては劇を硬直化させる主因であった。セレナータにおいては専ら主要歌手の楽曲に保守的様式が適応され、他の歌手の楽曲において冒険的な試みが実施されている。

3-2 独唱の形式

1 幕構成の6作には計 38 曲の独唱曲がある。そのうち、32 曲がダ・カーポ・アリアの形式をとる。コロラトゥーラやカデンツァを育成してきたダ・カーポ・アリア形式については、次章で詳述する。残る6曲のうち、4 曲が他形式によるアリアであり、さらに〈innocenza〉にカバーータ、アリエッタ各1曲が存在する。

ダ・カーポ型以外の形式で書かれた4曲のアリアうち、3 曲(#01No.1、

#03No.8、#06No.3)に共通の形式がみられる。これらは、ダ・カーポせずに、第1詩節[A]をはさんで第2詩節[B]を2回提示する形式で書かれている(A B A B A または A B A B)⁵。そして〈Tetide〉No.6は、第2詩節をもたない唯一のアリアである。この楽曲は全体を通じてバス声部のリズムが一定に保たれているため、コンティヌオ変奏の形式と考えられる。ここに示したダ・カーポ型以外のアリアの諸形式は、18世紀後半の作品にさらなる作例を見出すことができる(McCLYMONDS 2001: 892-893 参照)。

〈innocenza〉のカヴァータ(No.6)とアリエッタ(No.13)は、ともにアリアに比べて小規模であり、完全終止せずにレチタティーヴォに接続する。この2つのパターンもその後に発展をみる形式である。ここでのカヴァータは「レチタティーヴォの最終節を取り出した楽曲」(LEDERER 1999:XIII)で力強く、アリエッタは文字通り「アリアの短縮形」(CARTER 2001:898)の短い曲であり、独唱曲のなかで唯一主調のみで書かれている。

3-3 ダ・カーポ・アリア形式

32曲のダ・カーポ・アリアはすべて長調で書かれている。この形式には、〈cinesi〉から〈corona〉までの11年間に様式的な変化がみられる。しかし、第1詩節[A]と第2詩節[B]の関係について言えば、第2詩節が第1詩節に対して極めて短く、20~25%の比率で一定している。従って音楽的には、大規模な第1詩節部が主要部を形成し、短い第2詩節が中間部として続き、再び第1詩節の主要部に戻る枠組[A B A]が確立している。

様式の変化がきわめて顕著であるのは、ダ・カーポの仕方である。〈cinesi〉〈danza〉においては、中間部が完全終止して直ちに冒頭に戻る、つまりダ・カーポする楽曲が大半であり、反復記号の記されていない

〈cinesi〉No.4 も、実質的には冒頭の器楽部分[I₂]を省略して歌の開始部[V_{A1}]に戻る構造を持つ(図1-1参照)⁶。それに対して 〈innocenza〉以降の楽曲では、単純な回帰ではなく、中間部の後に器楽による移行部[I₄]を設け、冒頭器楽部[I₁]を省いて歌[V_{A1}]の開始部にダル・セーニョする構造が多くなる(図1-2参照)⁷。主として移行部[I₄]は、(1)冒頭器楽部[I₁]を短縮した形をなし、(2)主調への転調が行われる。これによって、単純反復の緩慢さを軽減し、接続がより円滑となった。〈Tetide〉No.12は、さらにこれを逸脱した作例であり、中間部[V_B]が別の独唱者に割り当てられているばかりでなく、移行部[I₄]を経て主要部後半[V_{A2}]へと接続する。曲の後半部に接続する曲は、この楽曲だけである。ここでは大幅な省略と、反復の削減によって、曲の前進性が高められた。

図1-1: ダ・カーポ型の構造モデル

	Fine							D.C.
楽節構造:	A			A'			B	
旋律構造:	a	a'	b	a''	d	b'	a''	x
和声構造:	I	I	-V	V	()	-I	I	()
テクスチャ:	器楽 I ₁	独唱 V _{A1}	器楽 I ₂	独唱 V _{A2}	器楽 I ₃	独唱 V _B		

図1-2: ダル・セーニョ型の構造モデル

	※							Fine	D.S.
楽節構造:	A				A'			B	移行部
旋律構造:	a	a'	b	a''	d	b'	a''	x	a''' / t
和声構造:	I	I	-V	V	()	-I	I	()	-I
テクスチャ:	器楽 I ₁	独唱 V _{A1}	器楽 I ₂	独唱 V _{A2}	器楽 I ₃	独唱 V _B	器楽 I ₄		

次に主要部の構造について述べる。ダ・カーポ型とダル・セーニョ型の主要部の構成に差異はほとんどない。主要部の構造は2部形式であり、基本的構造は器楽[I₁] (主調)→歌による第1詩節[V_{A1}] (主調-属調)→器

楽[I₂](属調)→歌による第1詩節の反復[V_{A2}](何らかの調を経て主調)→器楽[I₃](主調)である。〈danza〉においては、4曲中2曲(No.2, No.3)が属調上の器楽部分[I₂]なしに歌が続くが、他の楽曲はすべて属調の器楽部分が歌の間に介入する。冒頭の器楽部分[I₁]はまとまった楽節を構成し、歌の冒頭で同じ旋律が反復されることが多い。ただし、〈Tetide〉後はV_{A1}において器楽の伴奏形だけがI₁に従い、歌の主旋律は新たに提示されることも多くなる。また、独立した器楽部を持たずに歌から開始される楽曲が3曲ある⁸。上述の手法はいずれも劇的な効果を高めた。

第1詩節の歌詞は4行から成り、詩節全体を2～4回繰り返す。V_{A1}とV_{A2}で各2回反復するパターンが18曲と最も多い⁹。反復回数に関係なく、V_{A1}においては主調から属調への転調が行われる。そして、ここで歌詞を2回反復する場合、2回目は属調で歌われる。しかし、属調域で明確な主題が新たに提示されることは稀である。

V_{A2}はさまざまな調で開始され、転調を経て主調に戻る。ダ・カーボ型の開始調は、主調(3曲)、属調(8曲)、2度短調(2曲)、6度短調(1曲)、7度短調(2曲)の5パターン、ダル・セーニョ型は主調(4曲)、属調(9曲)、2度短調(2曲)の3パターンである¹⁰。属調開始が圧倒的に多い。V_{A1}においてソナタ形式を予見させるような明確な属調上の主題が出現しないのと同様、V_{A2}における素材の発展もみられない。主調への回帰後は、主としてV_{A1}の後半部が再現されるが、再現を行わず、新しい素材が再度提示される楽曲もある(#03No.9, #04No.11, #06No.5)。

コロラトゥーラはV_{A1}, V_{A2}の後半に集中し、歌詞の反復回数が増すV_{A2}で拡大する傾向がある。カデンツァはV_{A2}の終結直前に置かれる。他方、コロラトゥーラを含まない楽曲も8曲存在する¹¹。特に〈corona〉では、コロラトゥーラの多い保守的アリアとコロラトゥーラを持たない、

すなわち停滞を感じさせない新しいタイプのアリアとが並存している。

中間部の形式に共通するパターンは見出せない。詩節は1～2回提示される。特筆すべきは、中間部の調が安定しないことである。転調が多く、開始調と終止調が異なる楽曲が多い(19曲)¹²。

旋律の扱いについては、初期2作において動機のモザイク的な並置が顕著である。これらの作品では旋律動機が切り刻まれて、順不同に再現される。その後の作品では、むしろ長い楽節単位で旋律が変形するため、主題の変形が意識できる。

3-4 器楽のテクスチュア

〈Orfeo〉には、シャロモー、ハーブ等、それまでの舞台作品ではあまり使用されなかった楽器が導入された。また、ダブル・オーケストラの使用により、エコーの効果を醸し出すなど、臨場感を伴う立体的な響きを実現させた。かくして、器楽が単なる歌の伴奏ではなく、歌から独立した存在として劇の主要な要素を担うようになった。こうした器楽のテクスチュア、とりわけ管楽器が独立した役割を獲得する過程がセレナータにみられる。初期作品の器楽は、大半が歌の旋律を重複して奏でている。〈cinesi〉No.4のフルート・ソロは器楽部分に限られ、実際にはヴァイオリンと同じ旋律を分かち合っている。やがて〈innocenza〉No.8において管楽だけの伴奏部が登場する。これは画期的な響きをもたらしており、〈Orfeo〉を予見させる。さらに〈parnasos〉ではNo.1にオーボエ・ソロの効果的な使用がみられ、No.5では歌とオーボエのかけあいが行われる。セレナータにおいて歌と管楽器が有機的に融合されたテクスチュアの例は、この楽曲が初めてである。〈corona〉においてもNo.6に同様の手法がみられ、No.2とNo.5にはファゴットがソロで導入された。

使用楽器の点では、牧歌的な〈danza〉にコール・アングレが使用さ

れているのが特徴的である。また、〈innocenza〉と〈Tetide〉には他の作品よりも数の点で多くの楽器が使用されている(表4、表5参照)。各々 *festa teatrale*, *serenata* のジャンル名を付与された2作は、*componimento drammatico* の〈cinesi〉〈danza〉、*azione teatrale* と称される〈parnasos〉〈corona〉に比べ、作品全体の長さの点でも長くなっている。

器楽書法で特筆すべきは、器楽のフレーズが奇数小節から構成されることが多く、しかもアシメトリーである点である。これは器楽部分において顕著であり、歌のフレージングとは明らかに異なる。

結び:グルックにとってのセレナータという概念

グルック作曲の1幕構成の6作には、共通した音楽の様式が認められた。また、楽器編成や規模の違いはあるが、それ以外にはジャンルの違いが音楽作法に反映されているという明確な証拠は得られなかった。第2号において、台本作者の脳裏にはジャンル別の定義、すなわちセレナータの下位区分があったと結論づけたが、作曲家グルックには細かいジャンルの差異は認識されていなかったと考えられる。この点から、ジャンルは台本作者の主導で決定されたことが、本論においても確認された。しかしながら、6作の共通性は、グルックがそれらを包括する概念を有していた証拠でもある。彼がそれをセレナータと呼んでいたかどうかは判然としない。ただ明白であるのは、本稿で考察した1幕構成の劇作品が、*dramma per musica* と称される通常のオペラ・セリアよりも、すべて小規模だということだ。その視点でみる限り、これらの6作を共通の様式を持つ「小オペラ」と位置づけることができる。

3幕構成の〈Orfeo〉も、従来のオペラ・セリア、すなわち *dramma per*

musica に比して、相当に短い作品である。〈Orfeo〉は、台本作者、作曲家、バレエ振付家等が新しい理念を模索しながら、言葉通りの意味で共同制作した点でも画期的であったのだが、同作品に *azione teatrale* のジャンルを付与したのは、この制作に宮廷劇場監督官として携わったドウラッツォ伯と考えられる。その根拠は、彼の主導で前年に制作された、革新的な 〈Armida〉(台本: Migliavacca、作曲: Traetta) にも、*azione teatrale* の名が与えられているからである¹³。ドウラッツォ伯は〈Orfeo〉後にウィーン宮廷を去った。そしてグルックと台本作者カルツァビージは、後に2作の改革作品、〈Alceste〉(1767、tragedia) と〈Paride ed Elena〉(1770、dramma per musica) を世に出した。しかし、これらの作品はそれぞれ別のジャンル名を持つ。

1756年からの七年戦争の影響で、当時ウィーン宮廷では大規模なイタリア・オペラの上演が自粛された。そのためグルックがウィーンの宮廷劇場で働き始めた1754年から、〈Orfeo〉を発表する1762年までに書き上げたオペラ・セリアは2作しかない¹⁴。彼のイタリア作品の様式を知る上でも、本稿で取り上げたセレナータは有用な手がかりとなるだろう。

註:

- 1) グルックはヨーゼフ時代にハプスブルク家のための、もう1作の機会作品 〈Le feste d'Apollo〉 (1769、 *festa teatrale*、パルマ初演) を作曲。
- 2) エウリディーチェの唯一のアリア (No.27) には、ダ・カーボ・アリア形式の痕跡が認められる。
- 3) 例えば、第1幕第1場は合唱で始まり、その後レチタティーヴォと舞踏を経て、再び合唱が現れる。続くアリアの音楽もレチタティーヴォをはさみながら2回再現され、歌詞を変えながら、計3回奏される。同様の統合が、第2幕にもみ

られる。

- 4) 彼女たちの母マリア・テレージアは、シェーンブルン宮殿劇場での上演を希望したが、台本作者メタスタジオはこれに反対した(CROLL 1974: VII)。この逸話から、彼女たちの役者としての弱点が伺える。1764年に誕生日を迎えての年齢は、マリア・エリーザベト・ヨゼーファ(21歳)、マリア・アマーリア(18歳)、マリア・ヨゼーファ(13歳)。
- 5) ABABA = #01No.1, #06No.No.3, ABAB = #03No.8.
- 6) #03No.3はダ・カーボ型だが、中間部の最後に移行部がある。
- 7) 表2～8においてD.C.とD.S.はremarksに示した。移行部のある楽曲は、中間部の小節数を示す()の後に、+ 小節数の形で示してある。
- 8) I_1 のない楽曲 = #03No.3, I_1 が前奏的な楽曲 = #04No.2, #07No.3.
- 9) #01No.4, #02No.1～4, #03No.7, #04No.2, 4, 7, #06No.1, 2, 5, #07No.1～6.
- 10) ダ・カーボ型: V_{A2} の開始調 $I =$ #02No.2, 3, #03No.4, $V =$ #01No.2, #03 No.1, 3, 9, #04No.11, #06No.7, #07No.2, 5, 6, $ii =$ #06No.5, #07No.3, $vi =$ #01No.3, $vii =$ #02No.1, 4, ダル・セーニョ型: $I =$ #03No.2, #04No.7, 12, #06No.6, $V =$ #03No.3, #04No.2, 3, 4, 8, 9, #06No.2, #07No.1, 4, $ii =$ #01No.4, #05No.1.
- 11) コロラトゥーラのない楽曲 = #01No.4, #02No.3, #03No.4, 7, #06No.5, #07 No.2, 3, 5.
- 12) 中間部の開始調と終止調が異なる楽曲については、表2～8のKeyの欄で、()内に2つの調を示した。
- 13) <Orfeo>と<Arimida>は劇作法の点でdramma per musicaよりも短い構成の作品と定義することはできるが、本稿で考察した1幕物の作品と音楽作法の点では異なる特徴を持つ。
- 14) 1756年の<Antigono>と<Il re pastore>。ともにdramma per musica.

略号:

G2 SADIE, Stanley (ed.) 2001 *The New Grove Dictionary of Music and Musicians*. 2nd edition. London: Macmillan. 29 vols.

GW C. W. Gluck: *Sämtliche Werke*. Kassel; Basel; et al.: Barenreiter.

使用楽譜、参考文献: (略号については、上記の略号一覧参照)

ABERT, Anna Amalie; FINSCHER, Ludwig (ed.)

1963 'Orfeo ed Euridice'. GW. i/1.

BASELT, Bernd (ed.)

1970 'Il Parnaso confuso'. GW. iii/25.

BROWN, Bruce Alan; RUSHTON, Julian

2001 'Gluck, Christoph Willibald'. in G2 10: 24-58.

CARTER, Tim

2001 'Arietta'. in G2 1: 898.

CROLL, Gerhard (ed.)

1958 'Le Cinesi; Die Chinesinnen'. GW. iii/17.

1969 'La Danza'. GW. iii/18.

1974 'La Corona'. GW. iii/26.

HEARTZ, Daniel; McCLYMONDS, Marita; LOOMIS, George

2001 'Traetta, Tommaso'. in G2 25: 679-682.

鍵山, 由美

2000 「ウィーンで初演されたグルックの1幕構成のセレナータ: ジャンル表記に関する試論」 『お茶の水音楽論集』 (お茶の水音楽研究会) 2: 39-59.

LEDERER, Josef-Horst (ed.)

1999 'L'innocenza giustificata'. GW. iii/19.

McCLYMONDS, Marita

2001 'Aria: § 4: 18th century'. in *G2* 1: 890-894.

SOMFAI, Laszlo (ed.)

1978 'Tetide'. *GW*. iii/22.

TIMMS, Colin

2001 'Cavata'. in *G2* 5: 315.

かぎやま ゆみ

国立音楽大学卒業、お茶の水女子大学大学院修了。専門は18世紀ウィーン古典派。主要論文：

『ヴァーゲンザイルの序曲と交響曲にみられる様式の変化』。著作：「マリア・テレージア時代の宮廷音楽」『名曲の誕生』(2001：音楽之友社)、『ベートーヴェン大全集1：管弦楽曲』(1994：音楽之友社、共著)、訳書：『西洋の音楽と歴史6：啓蒙時代の都市と音楽』(1996：音楽之友社、共訳)など。東京成徳短期大学非常勤講師。

表2: #01 *Le cinesi* (1754.9.24.)[festivities, invited the Emperor's family] componimento drammatico (lib=Pietro Metastasio)

cast: Lisinga (Ls)=Vittoria Tesi-Tramontini [alto], Silango (Sl)=Joseph Friberth [tenor],
Tangia (Tn)=Katharina Starzer [soprano], Sivene (Sv)=Theresia Heinisch [soprano]

Schlosstheater(Schlosshof an der March)

at/ sc*1	content *2	incipit *3	register*4		scoring *5					key *6	meter *7	tempo *8	measure *9	remarks *10
			high	low	fl	ob	hn	st	gb					
-	Sinfonia	1/ Allegro	-	-	-	2	2(D)	○	○	D	2/2	Allegro	74	
		2/ Andante	-	-	-	-	-	○	○	h	2/2	Andante	38	
		3/ Allegro molto	-	-	-	2	2(D)	○	○	D	3/8	Allegro molto	129	
	Rec (Ls, Sv, Tn, Sl)	E ben: stupide	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-fv	4/4	-----	192	
	- Rec acc	Qual' innocente	xxx	xxx	-	-	-	-	○	f-D	4/4	-----	36	
	No.1 Aria (Ls)	Prenditi il figlio!	2F	0H	-	2	2(D)	○	○	h	2/2	Allegro	98=22(+25)18(+12)+21	
	Rec (Sl, Ls, Tn, Sv)	Ah, non firmir	xxx	xxx	-	-	-	-	○	h-a	4/4	-----	67	
	No.2 Aria (Sl)	Son lungi	1A	0E	-	-	-	-	○	A(f#-c#)	3/4(=)	Andante(=)	249=113(+23)/113	D.C.
	Rec (Sl, Tn, Ls, Sv)	Che vi par della scena?	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-C	4/4	-----	30	
	No.3 Aria (Sv)	Non sperar	3C	1E	-	-	-	-	○	F(d-a)	2/2(=)	Andante(=)	198=88(+22)/88	D.C.
	Rec (Sl, Ls, Sv, Tn)	Che amabile pastrella!	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-A	4/4	-----	71	
	No.4 Aria (Tn)	Ad un riso	2D	0A	2	-	2(D)	○	○	D(d)	3/4(3/8)	Allegro(Adagio)(=)	227=113(+21)/93	実質的D.S.
	Rec (Tn, Sl, Ls, Sv)	Che ti sembra	xxx	xxx	-	-	-	-	○	A-A	4/4	-----	53	
	No.5 Quartetto (Sv, Tn, Ls, Sl)	Voli il piedi in liete giri!	2A	0D	-	2	2(D)	○	○	D	3/4	Andante	209	

(表作成: 鍵山, 以下同)

ここに示した略号等は、以下の表すべてに適用される。

=code, タイトル後の()=初演日, []=上演機会, BROWN 2001 に基づくジャンル。lib=librettist, cast=初演時の配役。右端は初演場所。

*1 at=act, sc=scene, su=scene ultimate *2 Rec=Recitativo, Rec acc=Recitativo accompagnato, - =segueまたはattaccaを示す。

*3 register=実音表記; high=アリアの最高音, low=アリアの最低音; 1~3=1~3点, 0=カタカナ, -1=ひらがなの高さを示す。

Duetto=上段にcontentで先に名を記した役, 下段が後者の声域。Quartetto, Coro=全体の最高・最低音; xxx=省略

*4 fl=fluto, ob=oboe, fg=bassoon, eh=english horn(F管), ch=chalmereau, tp=trumpet, ct=coronet(C管), tb=trombone(C管), hn=horn,

tim=timpani, hp=harp, st=strings(通常編成2vn-1va-1b), vn=violin, va=viola, b=basso, vc=cello, gb=continuo, orch=orchestra

*5 大文字=長調, 小文字=短調, Vまたはv=半終止, ()の中はアリアの第2詩節[中間部]の調

*6 ()の中はアリアの第2詩節[中間部] *7 ()の中はアリアの第2詩節[中間部], (=)=中間部で拍子の変化のないもの

*8 ()の中はアリアの第2詩節[中間部], (=)=中間部でテンポの変化しないもの

*9 アリアはD.C.またはD.S.を含む総小節数; =以降はアリアの第1詩節[主要部](+アリアの第2詩節[中間部]), /以降の数字はD.C.

またはD.S.後の小節数, および変化なしに再現される小節数; mm=measure *10 D.C.=Da capo, D.S.=Dal segno, rit=ritardando

表3: #02 *La danza* (1755.5.5.)[birthday archduke Leopold] componimento drammatico pastrale (lib=Pietro Metastasio)

cast: Nice (Nc)=Caterina Gabrielli [soprano], Tirsi (Tr)=Joseph Friberth [tenor]

Schlosstheater of Laxenburg

sc	content	incipit	register		scoring						key	meter	tempo	measure	remarks
			high	low	ob	fg	eh	hn	st	gb					
-	Sinfonia	/1 Allegro	-	-	2	-	-	2(A)	○	○	A	4/4	Allegro	57	
		/2 Andante	-	-	-	-	-	-	○	○	a	2/4	Andante	48	
		/3 Allegro	-	-	2	-	-	2(A)	○	○	A	3/8	Allegro	80	
	Rec (Tr)	Ah Nice	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	D-d	4/4	-----	9	
	No.1 Aria (Tr)	Va: della danza è l'ora	1H	0F	-	-	2(F)	-	○	○	B(g-d)	6/8 (=)	Andante grazioso (=)	247=113(+21)/113	D.C.
	Rec (Nc, Tr)	E sola andar degg'io	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	C-d	4/4	-----	18	
	No.2 Aria (Nc)	Se tu non vedi	2H	1E	-	-	-	-	○	○	G(C-e)	3/4 (=)	Adagio(=)	229=103(+23)/103	D.C.
	Rec (Tr, Nc)	Vedo tutto il tuo cor	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	a-F	4/4	-----	8	
	No.3 Aria (Tr)	Che ciascun per te	1B	0E	2	-	-	2(F)	○	○	F(d)	2/2 (2/4)	Allegro(=)	321=142(+37)/142	D.C.
	Rec (Nc)	E ben, qualunque	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	C-D	4/4	-----	8	
	No.4 Aria (Nc)	Che chiedi?	3C	1E	-	1	-	-	○	○	G	3/4 (=)	Andante(=)	330=155(+20)/155	D.C.
	Rec (Tr, Nc)	Ah! Non piu	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	a-C	4/4	-----	24	
	No.5 Duetto (Nc, Tr)	Mille volte, mie tesoro	2H 1A	1E 0E	-	-	-	-	○	○	C-a	2/2 (=)	Andante(=)	175=153(+22)	D.C.なし
	- Instrument	Allegretto	-	-	-	-	-	-	○	○	A	6/8	Allegretto	24	
	- Rec (Tr, Nc)	Ah! mia Nice!	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	D-C	4/4	-----	15	
	No.6 =No.5	Mille volte	xxx	xxx	-	-	-	-	○	○	C	2/2	Andante	153	バレエ接続*

* このバレエは、Josef Starzer作曲 <grande Ballet de Berges>

表4-1: #03 *L'innocenza giustificata* (1755.12.8.)[birthday of Emperor Franz Stephan] festa teatrale (lib=Pietro Metastasio, Giacomo Durazzo)

cast: Claudia (Cl)=Caterina Gabrielli [soprano], Valerio (Vi)=Carlo Carlan [tenor], Flavio (Fv)= Tommaso Guarducci [castorato]

Flaminia (Fm)= Marianna Beneventi [soprano], Littori (Lt)

Burgtheater

sc	content	incipit	register		scoring							key	meter	tempo	measure	remarks
			high	low	fl	ob	fg	hn	tp	st	gb					
-	Sinfonia	1/ Allegro	-	-	-	2	-	2(D)	-	○	○	D	4/4	Allegro	75	
		2/ Andante	-	-	-	-	-	-	-	○	○	G	3/4	Andante	20	
		3/ Presto	-	-	-	2	-	2(D)	-	○	○	D	3/4	Presto	64	
1	Rec (Vi, Fv, Lt)	Signor, de'cenni tuoi	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	D-D	4/4	-----	42	
	No.1 Aria (Fl)	D'atre nubi è il sol	2H	0A	-	2	-	-	-	○	○	D(h-f#)	4/4(=)	Allegro(=)	265=125(+21)+12/107	Fv退場, D.S.
2	Rec (Vi, Fm)	Quai presagi funesti	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	e-D	4/4	-----	78	Fm入場
	-No.2 Aria (Vi)	Sempre è maggior	1H	0D#	-	-	-	-	-	○	○	G(e)	3/8(=)	Allegro(=)	352=167(+25)+26/134	Vi退場, D.S.

表4-2: #03 *L'innocenza giustificata* (1755)

sc	content	incipit	register		scoring							key	meter	tempo	measure	remarks
			high	low	fl	ob	fg	hn	tp	st	gb					
3	Rec-Rec acc(Fm, Cl)	Eterni Dei	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	a-F	4/4	-----	64- 6	Cl入場
	-No.3 Aria (Cl)	Guarda, pria se in questa fronte	3C	0Bb	-	-	-	-	-	○	○	B(g-d)	4/4(3/4)	Andante-[Moderato- -Andante] x2 (Andante Grazioso)	266=114(+31)+7/ 114	Cl退場 D.C.
4	Rec (Fm)	Ed io qui resto ancor?	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	C-D	4/4	-----	4	
	-No.4 Aria (Fm)	A'giorni suoi la sorte	2G	1D	2	-	-	2(G)	-	○	○	G(e-h)	3/4(4/4)	Andante (Allegro-Andante)	309=143(+23) +143	Fm退場 実質的D.C.
5	Rec (Fv, Cl)	No, soffrirlo	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	a-g	4/4	-----	80	
	-Rec acc (Fv, Cl)	Si, te ne priego	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	○	g-C	4/4	-----	15	
	-No.5 Duetto (Cl, Fv)	Va, ti consola, addio!	3C 2A	1E 1D	-	-	-	-	-	○	○	F(d-a)	2/2(3/8)	Andante(=)	282=124(+34)/124	Fv退,Fm入場 D.C.
6	Rec (Fm, Cl)	Claudia, pur ti	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	G-D	4/4	-----	19	VI入場
7	-Rec (VI, Fm, Cl)	Giovane sventurata!	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	D-Eb	4/4	-----	55	
	-No.6 Cavata (Cl)	Fiamma ignota	2Bb	1Eb	2	-	-	2(Es)	-	○	○	Eb(Ab-V)	4/4	Moderato	57	
8	Rec (Fv, VI, Fm, Cl)	Ah, Valerio	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	C-D	4/4	-----	41	Fv入場
	-No.7 Aria (VI)	Quercia annosa	1A	0D	-	-	-	-	2(D)	○	○	D(h)	4/4(=)	Allgero(=)	139=65(+14)+8/52	VI退場, D.S.
9	Rec (Fv, Cl, Fm)	Flavio, Flaminia	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	a-D	4/4	-----	12	
	-No.8 Aria (Cl)	La meritata palma	2H	1D	-	2	2	2(G)	-	◆	○	G	3/4	Andante	113=57(+14)+25 (+9)+8	Cl, Fm退場
10	Rec (Fv)	Assistetela, o Numi!	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	a-C	4/4	-----	12	
	No.9 Aria (Fv)	Non è la mia speranza	2H	1C	-	-	-	-	-	○	○	C(a-e)	4/4(3/8)	Andante	186=82(+22)/82	Fv退場, D.C.
	No.10 Ritornello	-----	-	-	-	-	-	-	-	○	○	f-A	4/4	Grave	4	
11	-No.11 Coro	Deh seconda	1G	-1A	-	2	-	2(A)	-	○	○	A	2/2	Allegro	34	VI入場
	Rec (VI)	Contro il voler	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	G-D	4/4	-----	12	
	No.12 Coro	Note è il reo	1G	-1A	-	2	-	2(G)	-	○	○	G	2/2(=)	Allgero	20	
su	-Rec (Cl, Fm, Fv, VI)	Si, si, Claudia morrà	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	C-D	4/4	-----	24	
	-No.13 Arietta (Cl)	Ah rivolgì	2G	1D	-	-	-	-	-	○	○	G-V	2/2	-----	34	
	-Rec acc (VI, Fv)	Oh Roma..Oh giorno!	xxx	xxx	-	-	-	-	-	○	○	a-D	4/4	-----	5	
	-Rec (VI, Fv, Cl)	Claudia, figlia	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	G-A	-----	-----	10	
	-No.14 Coro	Grazia al ciel	2A	-1A	-	2	-	2(D)	2(D)	○	○	D	3/8	Allegretto	54	

◆ st=2vn-2va-b の編成; (註) 全集版では第5場からを第2部としているが、この分割は劇作法ではなく、セレナータの演奏習慣に基づくものである。従って、本稿では part への分割を除外して考察した。尚、本稿のNo.は、sinfonia から通し番号をつけた全集版のNo.とは異なる。

表5-1: #04 *Tetide* (1760.10.10.) [1st wedding of archduke Joseph] serenata (lib=Gianambrogio Migliavacca)

cast: Tetide (Td)=Caterina Gabrielli [soprano], Apollo (Ap)=Giovanni Manzoli [castorato], Marte (Mt)=Carlo Cariani [tenor],

Imeneo (Im)=Antonio Priori [castorato], Pallade (Pl)=Maria Picinelli [soprano], Venere (Vn)=Teresa Giacomazzi [soprano]

Redoutensaal(court)

sc	content	incipit	register		scoring								key	meter	tempo	measure	remarks
			high	low	fl	ob	fg	hn	tp	tim	st	gb					
-	Sinfonia	1/ Allegro	-	-	-	2	2	2(A)	-	-	○	○	A	2/2	Allegro	88	
		2/ Andante	-	-	-	2	-	-	-	-	○	○	a	2/4	Andante	39	
		3/ Grazioso	-	-	2	2	-	2(A)	-	-	○	○	A	3/4	Grazioso	48	
	No.1 Coro(Ap,Mt,coro)	A chi tu fidi	2A	0D	-	2	-	2(D)	2(D)	2	○	○	D	2/2	Allegro	61	tim (D/A)
	Rec acc	Ola! S'acchetin	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	○	D-c#	4/4	-----	16	
	- Rec (Td, Mt)	E a me	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	c#-D	4/4	-----	13	
	No.2 Aria (Marte)	Stese all'acciar	1A	0D	-	-	-	2(G)	-	-	○	○	G(G-h)	4/4 (=)	Allegro(=)	205=83(+36)+8/78	
	Rec (Ap)	E v'è chi al Dio	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	E-C	4/4	-----	22	
	No.3 Aria (Ap)	Quante volte	2A	1C	-	-	-	2(F)	-	-	○	○	F(Bb-d)	3/4 (2/2)	Andante(=)	238=110(+28)+11/89	
	Rec (Td)	Quanto a voi	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	A-E	4/4	-----	15	
	No.4 Aria (Td)	Ah tu del ciel	3C	1D#	-	-	-	-	-	-	○	○	A(f)	4/4 (=)	Allegro(=)	268=131(+15)+10/112	
	No.5=No.1	A chi tu fidi	2A	0D	-	2	-	2(D)	2(D)	2	○	○	D	2/2	Allegro	61	
	Rec (Im, Mt, Ap)	I giusti prieghi	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	D-B	4/4	-----	32	tim (D/A)
	No.6 Aria (Pl)	No! nuovi	2Bb	1D	-	2	-	-	-	-	○	○	g	4/4	Allegro	69	
	Rec (Pl, Vn)	Non si combatte	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	A-D	4/4	-----	31	
	No.7 Aria (Vn)	Se de'miei pregi	2A	1D	-	-	-	2(F)	-	-	○	○	F(d-a)	3/4 (=)	Andante(=)	252=112(+35)+8/97	
	Rec (Pl)	E può le mie	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	D-E	4/4	-----	21	
	No.8 Aria (Pl)	Stringa il plettro	2H	0H	-	2	-	-	-	-	○	○	A(a)	2/2 (3/8)	Andante(=)	324=144(+43)+13/124	
	Rec (Td)	Non più:	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	A	4/4	-----	16	
	No.9 Aria (Td)	Alla virtude amico	3C	1D	-	-	-	-	-	-	○	○	C(a)	4/4 (3/4)	Allgero(Lento)	241=112(+22)+10/97	
	Rec (Pl, Vn, Ap, Mt)	Perchè appien	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	A-F	4/4	-----	10	
	No.10 Quartetto (Pl, Vn, Ap, Mt)	Chi de'nemici	2A	1C	2	2	-	2(F)	2(C)	-	○	○	F	2/2 4/4	Andante	136	rit部でLento
	Rec (Td)	Più non si tardi	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	D-D	4/4	-----	24	
	No.11 Aria (Ap)	Sotto si fausti	2H	0H	-	-	-	-	-	-	○	○	G(c-a)	4/4 (=)	Allegro(=)	236=111(+14)/111	
	Rec (Mt, Im)	Ah questa volta	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	E-E	4/4	-----	9	
	No.12 Aria (Im)	Oggi Amor	2A	1D	-	-	-	-	-	-	○	○	A(D-f#)	2/2	Andante(=)	214=116(+39)+16/43	中間部(Vn,Pl)
	Rec (Pl, Vn, Ap)	Esser chi mai	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	○	F#-g	4/4	-----	19	

表5-2: #04 *Tetide* (1760)

sc	content	incipit	high	low	fl	ob	fg	hn	tp	tim	st	gb	key	meter	tempo	measure	remarks
-	No.13 Duetto (Td, Ap)	Ah, tu affretta	3C 2A	1F 1D	-	2	-	-	-	-	○	○	Bb	[2/2-3/4] x2	[Poco Adagio- -Andante] x2	194=[45+27+30]+ [31+27+34]	拍子とテンポの 変更箇所は異なる
	Rec (Im, Pl, Vn, Mt, Ap)	Impazienti ormai	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	○	○	G-D	4/4	-----	10	
	No.14 Coro (Td, Pl, Vn, Ap, Mt, coro)	Vieni Imeneo!	2A	0D	-	2	-	2(D)	2(D)	2	○	○	D	3/4	Largo-Andante- -Lento-Andante	85	

表6-1: #05 *Orfeo ed Euridice* (1762.10.5.) [nameday of Emperor Franz Joseph] azione teatrale (lib=Ranieri de' Calzabigi)

cast: Orfeo (Of)=Gaetano Guadani [alto castorato], Euridice (Eu)=Marianna Bianchi [soprano], Amor (Am)=Lucile Clavereau [soprano]

Burgtheater

at	sc	content	incipit	register		scoring												key	meter	tempo	mm	remarks
				high	low	fl	ob	eh	ch	fg	hn	ct	tb	hp	st	gb						
-	-	Overtura	1/ Allgero	-	-	-	2	-	-	1	2	-	2	-	○	○	C	4/4	Allegro	112	hn(C),+tim(C/G)	
1	1	No.1 Coro (Of, coro)	Ah, se intorno	2F	1G	-	-	-	-	-	-	2	3	-	○	○	c	2/2	Moderato	61		
		Rec acc (Of)	Basta, basta	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	Ab-c	4/4	-----	13		
		No.2 Ballo	Larghetto	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	Eb	3/4	Larghetto	36		
		No.3 Coro = No.1	Ah, se intorno	2F	1G	-	-	-	-	-	-	2	3	-	○	○	c	2/2	Tempo 1	45	timなし	
		No. 4 Aria (Of)	Chiamo il mio ben	2D	0A	■	-	-	■	-	-	-	-	-	△	△	F	3/8	Andante moderato	34	orch1+2	
		Rec acc (Of)	Euridice, ombra cara	xxx	xxx	-	-	-	■	-	-	-	-	-	▲	△	Bb-F	4/4	-----	15	orch1:st(2vn-1va)-gb+ orch2:1ch-st(2vn)-gb	
		No.5 Aria (Of) = No.4	Cerco il mio ben	2D	0A	-	-	-	■	-	2	-	-	-	△	△	F	3/8	Andante	34	hn(F) solo; orch1+2	
		Rec acc (Of)	Euridice, Euridice!	xxx	xxx	-	-	-	■	-	-	-	-	-	▲	△	Bb-F	4/4	-----	18	直前Recと同じ編成	
		No.6 Aria (Of) = No.4	Piango il mio ben	2D	0A	-	-	2	■	-	-	-	-	-	△	△	F	3/8	Andante moderato	34	orch1+2	
		Rec acc (Of)	Numi!	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	g-a	4/4	-----	21		
2	2	Rec acc (Am, Of)	T'assiste Amore!	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	e-D	4/4	-----	36			
		- No.7 Aria (Am)	Gli sguardi trattieni	2D	1D	-	2	-	-	1	-	-	-	-	○	○	G	[3/4- 3/8] x3	[Sostenuto- Andante] x3	107		
		Rec acc (Of)	Che disse?	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	C-D	4/4	途中にtempo表示有	31		
		- No.8 Instrument	-----	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	D	4/4	Presto	12		
2	1	No.9 Ballo	Maestoso	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	●	●	Eb-c	4/4	Maestoso	20	hn(Eb); orch1のみ	
		- No.10 Instrument		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	c-v	4/4	-----	3	orch2のみ	
		- No.11 Coro	Chi mai dell'Erebo	2F	-1H	-	■	-	-	-	-	-	-	-	●	●	c-v	3/4	Andante un poco	10	orch1のみ	
		- No.12 Ballo	Presto	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	c-v	3/4	Presto	17		
		- No.13 Coro = No.11	Chi mai dell'Erebo	2F	-1H	-	1	-	-	-	-	-	-	-	○	○	c-v	3/4	Andante	40		
		- No.14 Ballo = No.9	Presto	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	○	○	c-v	3/4	Maestoso	20	hn(Eb)	

表6-2: #05 *Orfeo ed Euridice* (1762)

at	sc	content	incipit	register		scoring												key	meter	tempo	mm	remarks
				high	low	fl	ob	eh	ch	fg	hn	ct	tb	hp	st	gb						
2	1	No.15 Orfeo ed Coro	Deh placatevi	2Eb	0Bb	-	-	-	-	-	-	1	2	▲	△	(c-)Eb	4/4	-----	24	orch1+2; 1のst=(2vn)		
		No.16 Coro	Misero giovane	2F	1A	-	■	-	-	-	-	2	-	○	○	es-f	3/4	Andante-Piu mosso	32	orch1のみ		
		No.17 Aria (Of)	Mille pene ombre	2Eb	1C	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	f	2/2	Moderato	24	orch2のみ		
		No.18 Coro	Ah, quale incognito	2C	-1Ab	-	■	-	-	-	-	2	-	○	○	f-v	3/4	Andante	21	orch1のみ		
		- No.19 Aria (Of)	Men tiranne	2Db	1C	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	fv-f	2/2	Andante	15	orch2のみ		
		- No.20 Coro = No.18	Ah, quale incognito	2C	-1Ab	-	■	-	-	-	-	-	-	○	○	f	3/4	Andante-Allegro	48	orch1のみ		
	2	No.21 Ballo	Andante	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	○	○	F	3/4	Andante	28			
		No.22 Arioso (Of, coro)	Che puro ciel	2D	1C#	1	1	-	-	1	1	-	-	○	○	C-a	4/4	Andante	68	hn(C); 各管楽器の solo+vc solo		
		No.23 Coro	Vieni ai regni	2G	-1Bb	-	-	-	-	1	2	-	-	○	○	F	3/8	Andantino	55	hn(F)		
		No.24 Ballo	Andante	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	○	○	Bb	3/4	Andante	48			
		Rec acc (Of, coro)	Anime avventurose	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	D-C	4/4	-----	13			
		- No.25 Coro = No.23	Torna, o bella	2G	0C	-	-	-	-	1	2	-	-	○	○	F	3/8	Allegretto	55	hn(F)		
3	1	Rec acc (Of, Eu)	Vieni, segui	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	f-G	4/4	Larghetto	99			
		No.26 Duetto (Of, Eu)	Vieni, appaga il tuo consorte	2D 2A	1D 1E	-	2	-	-	2	-	-	-	○	○	G	4/4	Andante	93			
		- Rec acc (Eu)	Qual vita è questa	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	G-c	4/4	-----	26			
		No.27 Aria (Eu)	Che fiero momento	2Ab	1E	-	2	-	-	-	-	-	-	○	○	c(Eb)	2/4(3/4)	Allegro(Andante)	123	rit部でLento		
		Rec acc (Of, Eu)	Ecco un nuovo	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	Eb-G	4/4	途中にtempo表示有	63			
		No.28 Aria (Of)	Che farò senza	2E	1C	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	C	2/2	Andante espressivo	66			
	Rec acc (Of)	Ah finisca e per	xxx	xxx	-	-	-	-	1	-	-	-	○	○	d-f#	4/4	-----	19				
2	Rec acc (Am, Of, Eu)	Orfeo, che fai?	xxx	xxx	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	C#-D	4/4	-----	16				
3	No.29 Instument	Maestoso	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	○	○	D	2/4	Maestoso	21	hn(D)			
		- No.30 Ballo	1/ Grazioso	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	○	○	A	3/4	Grazioso	38			
			2/ Allegro	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	○	○	a-e	2/2	Allegro	56	hn(D)		
			3/ Andante	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	○	○	D	3/4	Andante	38	hn(D) D.C.		
	4/ Allegro	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	○	○	D	3/4	Allegro	77					
	No.30 Coro = No.29 (Of, Am, Eu, coro)	Trionfi Amore	2G	0C#	-	2	-	-	1	2	-	-	○	○	D	2/4	Maestoso	139	hn(D)			

この作品における各楽曲の No. は筆者が付与した。

第1幕第1場と第2幕第1場には、orchestra 1, orchestra 2 の指定のある楽曲がある。斜線で薄く網掛けした楽器= orchestra 1 に指定されている楽器; 濃く網掛けした楽器= orchestra 2 に指定されている楽器; st, gb の△ =両方にふくまれる楽器; st の▲ =どちらかの編成が通常編成と異なるものを示す。

表7: #06 *Il parnaso confuso* (1765.1.24.)[2nd wedding of archduke Joseph] azione teatrale (lib=Pietro Metastasio)

cast: Apollo (Ap)=Maria Amalia [soprano], Melpomene (Ml)=Maria Elisabeth Josepha [soprano],
Euterpe (Et)=Maria Josepha [soprano], Erato (Er)=Maria Karoline [soprano]

Salon de bataille(Schönbrunn)

sc	content	incipit	register		scoring				key	meter	tempo	measure	remarks		
			high	low	obl	fg	hn	st						gb	
-	Sinfonia	1/ Allegro	-	-	2	-	2(C)	○	○	C	3/4	Allegro	136		
		2/ Andante	-	-	1	1	-	○	○	c-v	3/8	Andante	57		
	-Instrument=sinfonia1/	Allegro	-	-	2	-	2(C)	○	○	C	3/4	Allegro	6		
	Rec (Ap, Et, Er, Ml)	Destatevi, soregete	xxx	xxx	-	-	-	-	○	C-d	4/4	-----	54		
	No.1 Aria (Ml)	In un mar che non ha	2Bb	1D	2	-	2(B)	○	○	Bb(g)	2/2(=)	Allegro(=)	297=137(+33)+10/117	D.S.	
	Rec (Et, Er, Ap, Ml)	A gran ragione	xxx	xxx	-	-	-	-	○	C-G	4/4	-----	61		
	No.2 Aria (Ap)	In forte a voi risplende	3C	1E	2	-	-	○	○	C(a)	2/2(=)	Andante Maestoso(=)	252=115(+27)/110	D.S.	
	Rec (Et, Er, Ml)	Non perdiamo	xxx	xxx	-	-	-	-	○	d-G	4/4	-----	54		
	No.3 Aria (Er)	Di questa cetra in seno	2G	1D	-	1	-	◆	○	G	3/4	Andante grazioso	131=43(+15)+24(+15)+34		
	Rec (Et, Er)	Erato, lo confesso	xxx	xxx	-	-	-	-	○	A-H	4/4	-----	29		
	No.4 (Ritornello)	Andante	-	-	1	-	-	○	○	G	2/2	Andante	9		
	- Rec (Ml, Er, Et)	Erato, Euterpe, udite	xxx	xxx	-	-	-	-	○	C-C	4/4	-----	35		
	No.5 Aria (Et) =No.4	Fin là dove l'aurora	2A	1E	1	-	-	○	○	F(Bb-d)	2/2 (=)	Andante(=)	226=107(+12)/107	D.C.	
	Rec (Er, Et, Ap, Ml)	Tratti la cetra	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-c#	4/4	-----	78		
	No.6 Aria (Ml)	Sacre piante	2A	1D#	-	-	2(A)	○	○	A(f)	2/2(3/8)	Un poco andante (Moderato)	169=63(+17)+5/84	D.S.	
		Rec (Ap, Ml, Et, Er)	Melpomene, ah t'arresta	xxx	xxx	-	-	-	-	○	H-C	4/4	-----	23	
	No.7 Aria (Ap)	Vi scuseranno assai	3C	1E	-	-	-	○	○	F(Bb-d)	3/4(2/2)	Andante(Alla breve)	235=108(+16)+3/108	D.C.	
		Rec (Ml, Ap, Et, Et)	Verrem, lucido Dio	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-D	4/4	-----	40	
	No.8 Finale: Duetto (Ap, Ml)	Nel mirar solo i sembianti	3C 2A	1E 1E	2	-	2(G)	○	○	G-V	2/2	Andante	113		
	- No.9 Tutti	Di lor ciglia un lampo	2G	1F	2	-	2(G)	○	○	G	3/8	Allegro un poco	141	バレエ*	

◆ st= 2vn-2va-1bの編成 * バレエ<Le triomphe de l'amour>(Gassmann作曲)に接続。尚、<parnaso>では、レーオポルト大公がチェンバロを弾きながら指揮を行った。

表8-1: #07 *La corona* (1765)[nameday of Emperor Franz Stephan] azione teatrale (lib=Pietro Metastasio)

cast: Atalanta (At)=Maria Amalia [soprano], Meleagro (Ml)=Maria Elisabeth Josepha [soprano],
Climene (Cl)=Maria Josepha [soprano], Asteria (As)=Maria Karoline [soprano]

Salon de bataille(Schönbrunn)=scheduled

sc	content	incipit	register		scoring						key	meter	tempo	measure	remarks
			high	low	ob	fg	hn	st	gb						
-	Sinfonia	1/ Allegro	-	-	2	-	2(D)	○	○	D	2/4	Allegro	154		
		2/ Lento	-	-	2	1	-	○	○	d	2/2	Lento	23		
		3/ Allegro	-	-	2	2	2(D)	○	○	D	3/8	Allegro	81		

表8-2: #07 *La corona* (1765)

sc	content	incipit	register		scoring					key	meter	tempo	measure	remarks
			high	low	ob	fg	hn	st	gb					
1	Rec (At, Cl, As)	Non la sperar	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-C	4/4	-----	75	
	No.1 Aria (At)	Vacilla il mio coraggio	2Bb	1F	-	-	2(F)	○	○	F(d)	2/2(=)	Andante ligato(=)	210=94(+21)+6/89	D.S
	Rec (Cl, As)	Di Calidone il prence	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-FV	4/4	-----	6	
2	Rec (At, Ml, Cl, As)	Le nostre liti	xxx	xxx	-	-	-	-	○	F-A	4/4	-----	38	Ml入場
	No.2 Aria (Ml)	Sol voi rese il Ciel	2H	1E	-	1	-	○	○	A(f#-c#)	3/4(2/2)	Grazioso (Moderato)	200=90(+20)/90	D.C.
	Rec (Cl, As, Ml, At)	Al generoso prence	xxx	xxx	-	-	-	-	○	h-d	4/4	-----	49	Ml退場
3	Rec (At, Cl, Ml, At)	Il fremo	xxx	xxx	-	-	-	-	○	D-h	4/4	-----	11	Cl入場
4	Rec (At, As)	Non vieni, Asteria?	xxx	xxx	-	-	-	-	○	f#-d	4/4	-----	16	
	No.3 Aria (As)	Anch'io mi sento	2G	1E	-	-	2(G)	○	○	G(e-G)	2/2(=)	Tempo di Marcia(=)	100=43(+14)/43	D.C.
	Rec (At)	Che bell'ardir!	xxx	xxx	-	-	-	-	○	a-F	4/4	-----	16	
	No.4 Aria (At)	Quel chiaro rio che a pena	2H	1F	2	-	-	○	○	Bb(Eb-c)	2/2(=)	Adagio-Allegro x2 (Adagio)	258=118(+23)+10/ 107	D.S
	Rec (As)	Ah! Così vuoi?	xxx	xxx	-	-	-	-	○	C-F	4/4	-----	4	
	- Coro di cacciatori	Al fiume	1G	-1C	-	-	2(F)	-	-	C	2/2	Presto	5	左奥森から
	- Rec (As, At)	Udisti?	xxx	xxx	-	-	-	-	○	F-C	4/4	-----	9	
	- Coro di cacciatori	Al monte	2C	-1C	-	-	2(F)	-	-	F	2/2	Presto	5	右奥森から
	Rec (As, At)	Resti chi puo	xxx	xxx	-	-	-	-	○	B-e	4/4	-----	8	As, At退場
5	Rec (Cl)	Germana? Asteria?	xxx	xxx	-	-	-	-	○	e-C	4/4	-----	59	Cl入場
	No.5 Aria (Cl)	Benchè inesperto	2A	1D	-	2	-	○	○	C(F-a)	2/2(=)	Moderato (Andante)	184=84(+16)/84	D.C.
	Rec (Cl)	Dei, che lentezza!	xxx	xxx	-	-	-	-	○	D-e	4/4	-----	3	
6	Rec (As, Cl)	E alcun non trovo!	xxx	xxx	-	-	-	-	○	e-e	4/4	-----	22	As入場
7	Rec (At, Cl, As)	Un'arme, un ferro	xxx	xxx	-	-	-	-	○	e-a	4/4	-----	8	At入場
su	Rec (Ml, As, Cl, At)	La belva è uccisa	xxx	xxx	-	-	-	-	○	e-A	4/4	-----	32	Ml入場
	No.6 Aria (Ml)	Fe'germogliare il fato	2H	1E	1	-	2(D)	○	○	D(h)	2/2(3/4)	Moderato (Andante)	253=115(+23)/115	D.C.
	Rec (Cl, As, Ml, At)	Anima grande!	xxx	xxx	-	-	-	-	○	G-G	4/4	-----	65	
	No.7 Duetto (Ml, At)	Deh l'acetta	2H 2A	1D 1D	-	-	-	○	○	G(e)	2/2(=)	Grazioso(=)	206=93(+20)/93	D.C.
	Rec (As, Cl, At, Ml)	Climine, io son confusa	xxx	xxx	-	-	-	-	○	a-D	4/4		34	
	No.8 Coro (Ml, At, Cl, As)	Sacro dover ci chima	2H	1D	2	-	2(G)	○	○	G	6/8	-----	47	

10月4日に上演予定であったが、皇帝フランツ・シュテファンが1765年8月18日に逝去し、喪に服することになったために未上演。